

シンポジウム開催のご案内 無 料

テーマ

「新・アグリライフ」による地域活性化と
松阪市の「竹林まちづくり」の活動について

開催日時：平成21年9月11日[金] 13:00～16:15

開催場所：昭和ビル（名古屋市中区栄4丁目3-26 ☎052-261-7751）

参加人員：約100名[無料] どなたでも参加可能です

■主催：竹林まちづくり推進協議会 ■後援：愛知県／三重県／松阪市

時間	内容	講演者
13:00～13:15 (15分)	受付	
13:15～14:30 (75分)	【基調講演】 「農を活かす共創まちづくり」の視座と展望	早稲田大学大学院教授 有賀 隆 氏
14:30～14:40 (10分)	【休息&お知らせ】 収穫祭バスツアーのお知らせ アンケート調査のお願い	事務局
14:40～16:15 (95分)	【パネルディスカッション】 「新・アグリライフ」の推進に向けて 松阪市の「竹林まちづくり」の活動について	コーディネーター 森野美徳氏（都市ジャーナリスト） パネラー 有賀隆氏（早稲田大学大学院教授） 大竹 亮氏（国土技術政策総合研究所） 河井良幸氏（カズサ愛彩ガーデンファーム） 川端 勝氏（JA松阪） 佐藤啓二氏（都市農地活用支援センター）

講師及び講演内容

【基調講演】

「農を活かす共創まちづくり」の視座と展望

講師：早稲田大学大学院教授（創造理工学研究科）
有賀 隆 氏



【講演内容】 近年、都市とその周辺に広がる農地の保全や耕作放棄地の再生問題は、農家や農地所有者への支援という枠組みを越え、その地域の経営や環境の保全、さらには都市計画の重要な課題として広く検討されるようになった。こうした背景には農地や耕作放棄地の問題が、その都市の社会・経済活動と市民生活に密接に関連する地域全体のまちづくり課題であると考えられるようになったことがある。農地保全や耕作放棄地再生を含む「農を活かす共創まちづくり」をテーマとして、来る時代に市民が主体となる新たな社会事業としての共創まちづくりの可能性に触れ、求められる仕組みや実現に向けた計画支援の在り方について考えてみたい。

【パネルディスカッション】

「農を活かした移住・交流拠点づくり」

コーディネーター：都市ジャーナリスト
森野美徳 氏



【講演内容】 「移住者や二地域居住者の農ある暮らし」を推進している松阪市の「竹林まちづくり」の活動（農家と市民の協働による地域「緑・農・住」組織づくり）や「カズサ愛彩ガーデンファーム」などの具体的な事例を紹介しながら、移住者と地域居住者の係わり方や今後のあり方についてパネルディスカッション形式で議論していただく。

応募方法

下記の事務局宛に必要な事項（住所、氏名、年齢、職業、電話番号、FAX、E-mail番号）を記載のうえ
FAXまたはE-mailで応募して下さい。（応募多数の場合は抽選）

【事務局】財団法人 都市農地活用支援センター 相談部 東 忠平

〒160-0022 新宿区新宿1-26-6 ☎03-6691-3709 Fax 03-3225-5423 E-mail:azuma@tosinouti.or.jp